

2018年業績集

論文

〔原著〕

Noda M, Okayama H, Tachibana K, Sakamoto W, Saito K, Thar Min AK, Ashizawa M, Nakajima T, Aoto K, Momma T, Katakura K, Ohki S, Kono K. Glycosyltransferase Gene Expression Identifies a Poor Prognostic Colorectal Cancer Subtype Associated with Mismatch Repair Deficiency and Incomplete Glycan Synthesis. *Clinical Cancer Research*. 201809; 24(18):4468-4481.

Azami A, Suzuki N, Azami Y, Seto I, Sato A, Takano Y, Abe T, Teranishi Y, Tachibana K, Ohtake T. Abscopal effect following radiation monotherapy in breast cancer: A case report. *Molecular and Clinical Oncology*. 201809; 9(3):283-286.

Saito M, Goto A, Abe N, Saito K, Maeda D, Ohtake T, Murakami Y, Takenoshita S. Decreased expression of CADM1 and CADM4 are associated with advanced stage breast cancer. *Oncology Letters*. 201802; 15(2):2401-2406.

Nakajima T, Okayama H, Ashizawa M, Noda M, Aoto K, Saito M, Monma T, Ohki S, Shibata M, Takenoshita S, Kono K. Augmentation of antibody-dependent cellular cytotoxicity with defucosylated monoclonal antibodies in patients with GI-tract cancer. *Oncology Letters*. 201802; 15(2):2604-2610.

Aoto K, Mimura K, Okayama H, Saito M, Chida S, Noda M, Nakajima T, Saito K, Abe N, Ohki S, Ohtake T, Takenoshita S, Kono K. Immunogenic tumor cell death induced by chemotherapy in patients with breast cancer and esophageal squamous cell carcinoma. *Oncology Reports*. 201801; 39(1):151-159.

Noda M, Okayama H, Kofunato Y, Chida S, Saito K, Tada T, Ashizawa M, Nakajima T, Aoto K, Kikuchi T, Sakamoto W, Endo H, Fujita S, Saito M, Momma T, Ohki S, Kono K. Prognostic role of FUT8 expression in relation to p53 status in stage II and III colorectal cancer. *PLOS ONE*. 201807; 13(7):e0200315.

阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 大竹 徹, 立花和之進, 戸村則昭, 瀬戸一郎, 外館幸敏, 藁谷 暢, 鈴木伸康, 佐藤 直, 高野祥直, 阿部 幹, 寺西 寧. 脳神経症状を呈する頭蓋底骨転移に対し緩和的放射線治療が有効であった乳癌の1例. *癌と化学療法*. 201812; 45(13):1806-1808.

仲野 宏, 阿部宣子, 野田 勝, 作山美郷, 村上祐子, 星 信大, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 森谷卓也, 大竹 徹. 乳腺被包型乳頭状癌の 1 例. 癌と化学療法. 201812; 45(13):1869-1871.

村上祐子, 立花和之進, 大竹 徹, 佐治重衡. 【乳癌－診断・治療の最新知見－】 乳癌の治療 乳癌の薬物療法 内分泌療法 内分泌療法と分子標的薬の併用. 日本臨床. 201805; 76(5):760-767.

村上祐子, 門馬智之, 立花和之進, 長塚美樹, 松寄正實, 野水 整. 神経線維腫症 1 型および完全内臓逆位症を伴った異時性両側乳癌の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌. 201802; 79(2):302-307.

研究発表等

〔研究発表〕

Okano M. High Androgen Receptor expression tumors have worse overall survival in ER positive breast cancer. Roswell Park Scientific Retreat; 20180609; Ellicottville, NY, USA.

Okano M, Oshi M, Katsuta E, Takabe K. Triple-negative Breast Cancer that expresses high level of Annexin A1 have worse prognosis. 13th Annual Academic Surgical Congress; 20180130-0201; Jacksonville, FL, USA.

Okano M, Oshi M, Kawaguchi T, Okano I, Katsuta E, Takabe K. Methods to improve establishment of breast cancer patient-derived xenografts. 13th Annual Academic Surgical Congress; 20180130-0201; Jacksonville, FL, USA.

Okano M, Katsuta E, Ohtake T, Takabe K. Annexin A1 Expression Associate with EMT and Poor Prognosis in Patients of Triple Negative Breast Cancer. 71st Society of Surgical Oncology Annual Cancer Symposium; 20180321-24; Chicago, IL, USA.

Okano M, Kawaguchi T, Okano I, Katsuta E, Takabe K. Optimal implantation sites and source tumor for breast cancer patient-derived xenografts. 71st Society of Surgical Oncology Annual Cancer Symposium; 20180321-24; Chicago, IL, USA.

Okano M, Oshi M, Takabe K. Orthotopic implantation of aggressive breast cancer achieves better engraftment and larger tumor in patient-derived xenograft models. AACR Annual Meeting 2018; 20180414-18; Chicago, IL, USA.

Okano M, Katsuta E, Takabe K. High Androgen Receptor expression tumors have worse overall survival in ER positive breast cancer. American Society of Breast Surgeon 19th Annual Meeting; 20180502-06; Orlando, FL, USA.

村上祐子, 阿部宣子, 作山美郷, 仲野 宏, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 同時性両側性神経内分泌型非浸潤性乳管癌の 1 例. 第 9 回 DCIS 研究会; 20180203; 東京.

立花和之進, 阿部宣子, 佐藤孝洋, 村上祐子, 野田 勝, 大竹 徹. 乳がん化学療法における FN 発症抑制に向けた取り組み. 乳がん学術講演会 2018; 20180210; 郡山.

作山美郷, 立花和之進, 阿部宣子, 仲野 宏, 村上祐子, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 急速増大した乳腺悪性孤立性線維性腫瘍の 1 例. 第 15 回日本乳癌学会東北地方会; 20180303; 仙台.

仲野 宏, 野田 勝, 作山美郷, 村上祐子, 星 信大, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 被包型乳頭状癌の 1 例. 第 15 回日本乳癌学会東北地方会; 20180303; 仙台.

星 信大, 阿部暁人, 室井 望, 林 光弘, 阿部宣子, 立花和之進, 野田 勝, 村上祐子, 仲野 宏, 作山美郷, 吉田清香, 岡野舞子, 大竹 徹. 乳腺コレステロール肉芽種の 1 例. 第 15 回日本乳癌学会東北地方会; 20180303; 仙台.

阿部宣子, 作山美郷, 仲野 宏, 村上祐子, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. 術前針生検にて非浸潤性乳管癌と診断された症例の検討. 第 26 回日本乳癌学会学術総会; 20180516-18; 京都.

野田 勝, 阿部宣子, 作山美郷, 仲野 宏, 星 信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 佐治重衡, 大竹 徹. アロマターゼ阻害薬耐性進行・再発乳癌に対する治療選択. 第 26 回日本乳癌学会学術集会; 20180516-18; 京都.

立花和之進, 野田 勝, 仲野 宏, 作山美郷, 星 信大, 村上祐子, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹 徹. 進行・再発 Luminal type 乳癌に対するフルベストラントの使用経験. 第 26 回日本乳癌学会学術総会; 20180517; 京都.

仲野 宏, 野田 勝, 作山美郷, 村上祐子, 星 信大, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹 徹. HER2 陽性転移・再発乳癌に対するベバシズマブ併用療法の使用経験. 第 26 回日本乳癌学会; 20180517; 京都.

星 信大, 阿部宣子, 作山美郷, 仲野 宏, 村上祐子, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 神経内分泌型非浸潤性乳管癌の 3 例. 第 26 回日本乳癌学会; 20180517; 京都.

村上祐子, 杉本幸太郎, 立花和之進, 仲野 宏, 作山美郷, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 富川直樹, 佐治重衡, 大竹 徹, 千葉英樹. 乳癌における Claudin-4 高発現の臨床病理学的意義. 第 26 回日本乳癌学会; 20180517; 京都.

作山美郷, 阿部宣子, 仲野 宏, 村上祐子, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 久保 均, 伊藤 浩, 大竹 徹. 乳癌における PET-CT による術前の腋窩リンパ節転移の評価. 第 26 回日本乳癌学会; 20180518; 京都.

吉田清香, 作山美郷, 仲野 宏, 星 信大, 村上祐子, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 久保 均, 伊藤 浩, 大竹 徹. 術前化学療法時の PET-CT における集積の変化と組織学的効果判定についての検討. 第 26 回日本乳癌学会; 20180518; 京都.

仲野 宏, 阿部宣子, 野田 勝, 作山美郷, 村上祐子, 星 信大, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 森谷卓也, 大竹 徹. 被包型乳頭状癌の 1 例. 第 40 回癌局所療法研究会; 20180615; 東京.

村上祐子, 野田 勝, 立花和之進, 阿部宣子, 大竹 徹. 当院における HER2 陽性転移再発乳がんに対するエリブリン+抗 HER2 療法症例の検討. 第 2 回福島県乳癌外科研究会; 20180623; 郡山.

立花和之進, 阿部宣子, 村上祐子, 野田 勝, 大竹 徹. 医療安全からみた乳癌外来化学療法における発熱性好中球減少症のマネジメント. 第 57 回全国自治体病院学会 in 福島; 20181018; 郡山.

立花和之進. がんを学ぶ～乳癌を中心に～. 福島県学生がん予防サポーター養成セミナー事業; 20181030; 福島.

大竹 徹. 「がんを学ぶ」～乳がんを知り、予防する～. 福島県「学生がん予防サポーター養成セミナー」; 20181106; 福島.

片方雅紀, 村上祐子, 野田 勝, 立花和之進, 阿部宣子, 喜古雄一郎, 橋本優子, 森谷卓也, 大竹 徹. 多発皮膚結節が発見契機となった原発不明癌の一例. 第 16 回福島県乳癌研究会; 20181110; 郡山.

星 信大, 阿部宣子, 立花和之進, 野田 勝, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 大竹 徹. 同時性両側性神経内分泌型非浸潤性乳管癌の 1 例. 第 80 回日本臨床外科学会総会; 20181112; 東京.

〔シンポジウム〕

野田 勝, 立花和之進, 作山美郷, 仲野 宏, 村上祐子, 星 信大, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹 徹. 乳癌手術の縮小化に関する基礎的検討と臨床成績. 第 15 回日本乳癌学会東北地方会; 20180301; 仙台.

大竹 徹. 平成 28 年度福島市乳がん検診成績について. 平成 30 年度福島市医師会乳がん検診精度管理研修会; 20180612; 福島.

野田 勝, 立花和之進, 村上祐子, 星 信大, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹 徹. 乳房温存手術における乳房内再発リスク因子の検討. 第 23 回 日本外科病理学会学術集会; 20181026-27; 横浜.

〔特別講演〕

大竹 徹. マンモグラフィガイドラインの変更点と解説. 第 47 回 NPO 法人マンモグラフィ精度管理中央機構主催マンモグラフィ更新講習会; 20180225; 名古屋.

大竹 徹. がん対策推進計画と乳がん診療の話題. 第 1 回福島県がんシンポジウム; 20180811; 福島.

大竹 徹. 乳癌標準治療の基礎と臨床. 川越乳癌カンファレンス; 20181006; 川越.

大竹 徹. HER2 陽性乳癌の治療戦略. いわき乳腺疾患研究会; 20181012; いわき.

立花和之進, 野水 整, 長塚美樹, 松寄正實, 加瀬晃志, 千田 峻, 佐久間威之, 八島 玲, 村上祐子, 阿部宣子, 大竹 徹. 卵管卵巣切除を施行した家族性乳癌症例の検討. 第 80 回日本臨床外科学会総会抄録; 20181022; 東京.

大竹 徹. 乳がんの化学療法. 平成 30 年度がん診療連携拠点病院 調剤薬局薬剤師研修支援事業; 20181115; 福島.

大竹 徹. HER2 陽性乳癌の治療戦略. 会津乳がん治療セミナー; 20181120; 会津若松.

大竹 徹. 「がんを学ぶ」～乳がんを知り、予防する～. 福島県健康を守る婦人連盟 平成 30 年度
県北方部健康集会; 20181205; 二本松.

〔招待講演〕

立花和之進. 乳癌の基礎と骨粗鬆症. 第一三共社内講演会; 20180904; 福島.

立花和之進. 乳がんを学ぼう ～知っておきたい自己検診～. 福島県職員連合労働組合女性部 第
13 回定期大会; 20181117; 郡山.

受 賞

野田 勝 Glycosyltransferase Gene Expression Identifies a Poor Prognostic Colorectal Cancer
Subtype Associated with Mismatch Repair Deficiency and Incomplete Glycan Synthesis
福島県医師会平成 30 年度 医学奨励賞 第 151 回福島県医師会医学大会